

Salon

Vol.92 2014年9月 秋号



ホール2Fホワイエ壁面 ポール・ゴアマン作「ダンサー」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — 橋本杏奈
- 03 Phoenix Presents — チケット発売情報
- 05 Pick Up
- 06 Phoenix Spot
- 07 Essay de say — 「一期一会～Music for a while～」 近藤浩志

自ら編曲、クラリネットの魅力発信 欧州楽壇で頭角現す英在住のホープ

橋本杏奈さん

「いまヨーロッパで最も注目されている、若手クラリネット奏者」と言い切っても良からう。滋味を湛えた豊かな音色から、コミカルなニュアンスの細かなフレーズまで、この楽器の持ちうる奥深い表現力と魅力を極限まで引き出す一方、自ら編曲を手掛けてレパートリーの拡大を図るなど、クラリネットの新たな可能性を切り拓いている、橋本杏奈さん。12月のティータイムコンサートで、ザ・フェニックスホールのステージに初登場、待望のリサイタルが実現する。プーランクとドビュッシーの2大ソナタを大枠に、やはりブラームスの佳品ソナタである第2番、大バッハの名品の編曲、テンプレトンの洗練された作品を配し、ローゼンブラットの難曲で締めるといふ、多彩なプログラム。「演奏を通じて、常に聴衆と対話を続けてゆきたい。そして、80歳になっても、新鮮な気持ちで、音楽や生活を楽しんでいられれば」という橋本さんの語る言葉は、彼女が紡ぐ音色と同様に魅力的で、饒舌で、瑞々しい。

(取材・文:寺西 肇/音楽ジャーナリスト)

橋本 杏奈

Anna Hashimoto (Clarinet)

15歳でイギリス室内管弦楽団とコンチェルトデビュー。以来同オーケストラよりソリストとして度々招かれる。2009年第7回カルリーノ国際クラリネット・コンクール(イタリア)に於いて1位なしの2位を受賞。2010年11月、第1回コルトレイク国際クラリネット・コンクール(ベルギー)優勝。日本国内では第6回日本クラリネット・コンクール入選及び「パルテノン多摩賞」を受賞。2011年5月には東京・名古屋などでリサイタルの他、師マイケル・コリンズとのデュオ及びゴダーイ弦楽四重奏団と共演し各地で絶賛を博す。英国王立音楽院のフェロー(助手)を経て、現在バーミンガム音楽院の室内楽講師。使用楽器はピーター・イートンのインターナショナル・モデル。

橋本杏奈 クラリネットリサイタルは、2014年12月5日(金)午後2時開演。入場料2,000円(指定席)、友の会1,800円。学生1,000円(限定数。ザ・フェニックスホールチケットセンターのみお取り扱い)。チケットのお求め、お問合わせは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く平日10時~17時)。

【プログラム】

J・S・バッハ:バセットクラリネットのための半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV903

ブラームス:クラリネットソナタ 第2番 変ホ長調 作品120-2

テンプレトン:ポケット・サイズ ソナタ 第2番

プーランク:クラリネットソナタ

ドビュッシー:クラリネットのための第一ラプソディー

ローゼンブラット:カルメン幻想曲

「聴衆との対話」目指して

今回のプログラミングの意図は。

クラリネットといえば、やはりブラームスやプーランクのソナタ、ドビュッシーのラプソディーは欠かせないレパートリーです。でも、いわゆる名曲だけでなく、色彩に富んだものにしたくて…特に、この夏に録音した新しいソロ・アルバム「A Touch of Anna」の冒頭にも収録した、ローゼンブラットのカルメン幻想曲は、あまり知られていませんが、是非ともご紹介したかった作品。ジャズのスタイルで書かれた、楽しい曲です。テンプレートも、ジャズ風の小品です。

本来は鍵盤楽器のための、バッハの半音階的幻想曲とフーガは、どんな編曲ですか。

実は、自分で編曲しました。東京オペラシティの「B→C(バッハtoコンテンポラリー)」シリーズの一環でのリサイタルのプログラムを考えていて、思いついたんです。バロック時代にはクラリネットという楽器は存在していなかったの、技術や音域の面などでどの作品が適しているか迷いましたが、バセットクラリネットであれば、幻想曲も原調のまま演奏が可能です。フーガは、普通のB管クラリネットを使います。

バセットクラリネットという楽器は、モーツァルトと関わりが深いですね。

クラリネット協奏曲や五重奏曲は、当時の名クラリネット奏者だったアントン・シュタドラー(1753~1812)の提案で、低音域を拡大したバセットクラリネットのために書かれました。この楽器はシュタドラーの死と共に一度は消滅しましたが、今から30年ほど前にモダン楽器として復活を遂げ、今はオーストリアや英国では、モーツァルトの協奏曲はバセットで演奏する事が多くなっています(※1)。私が使用しているのは、イギリスの名匠ピーター・イトン氏製作のモデルで、A管の下管の部分だけを付け替える構造になっていて、違和感がなく、とても自然。実はこのモデル、現在でも世界に4本しか存在しません。

これに限らず、普段から愛用しているのは、イギリスの楽器ですね。

はい。イトン氏製作のB管とA管を、特に愛用しています。深く力強い音質で、特に、低音のヴェルヴェットのように温かく、豊かな響きが気に入っています。C管やEs管は、フランスのビュッフェ・クラボン社の楽器を使用しています。新アルバムでは、バセットからC管、Es管まで使いました。

共演の高木美来さんは どんなピアニストでしょうか。

初共演は4年前の夏で、とても気が合っていて楽しくできたので、リサイタルやラジオの収録で、何度も一緒にしました。お互いに神経質ではなくて(笑)、リラックスして楽しく演奏できるんですよ。

今回のステージで、特に「ここを聴いてほしい」というポイントは。

先入観なく、リラックスして楽しんで頂ければ…。もしかすると、お気に召さない曲もあるかも知れませんが、これも、ひとつの体験と思って、お聴き願います(笑)。

ところで、クラリネットを始めたきっかけとは。

父がヴァイオリニスト、母がピアニストで、幼い頃に両方の楽器を始めたのですが…。我が家には、色々な楽器の奏者がリハーサルにいられていて、中でも、クラリネットの「キーッ!」というリードミスの音が、4歳くらいの私には面白くて…。奏者の方に「あれは一体、何の音?」と尋ねると、「楽器の中にお猿さんが住んでいて、時々いたずらして『キーッ!』って鳴くんだよ」と言うんです(笑)。「へー!! じゃあ、私も大きくなったら、可愛い小猿の入っているクラリネットが欲しい!」と思ったのがきっかけ(笑)。大人の歯が生え揃い、8歳半で楽器が持てるようになった頃には、ひと通りのクラリネットの名曲は、既に知っていました。

マイケル・コリンズさん(※2)への師事は、最初から決めていたのですか。

クラリネットを始めた頃から、先生は私の憧れでした。それこそ、学校を休んで、マスタークラスを聴きに行ったり、コンサートの楽屋でサインを頂いたり…。16歳の時、念願が叶って、マスタークラスの受講生となり、コーブランドの協奏曲を吹いたら、その場で弟子入りの許可を頂き、唯一の生徒になれました。その日から6年間、師事しましたが、彼が1人の生徒を長期間にわたって教えたのは、他に例がないことだそうです。レッスンは常に舞台に立った時のことを意識して行われ、毎日が驚きと発見の連続でした。先生に教わった中で最も大切な事は、「こう歌きたい」と願ったら「絶対そう吹ける」のだということ。逆に、「不可能」という言葉はタブーでした。

橋本さんご自身が、ステージ上で最も大切にしていることとは。

自由でいられる様に、自分を大切にすること。そして、演奏を通して、聴衆の皆さんと対話すること。

演奏家になることを決意したのはいつでしょう。

幼い頃から周囲が音楽家ばかりで、人は誰もが楽器を演奏するんだと思っていたので、小学校に上がると、楽器を弾かない子がたくさんいて、びっくりしました。私はクラリネットと出会った時から虜になって、クラリネット奏者になろうと決意したのも、その頃だったように思います。でも、実際には、15歳での協奏曲デビュー以来、常に演奏し続けて来たので、気づいた時には、もう奏者になっていました(笑)。

ご自身が目指す「演奏家像」とは。

とにかく何でもやりたい。ロックバンドとコラボもしますし、この間は道端でバスキングをしていたクレズマーのクラリネット吹きに誘われて(※3)、その場でタンバリンを叩いたりもして…(笑)。誰とどのような形で共演しても、得るものはあります。演奏家としての目標は、一生この楽器を吹き続ける事でしょうか。80歳になっても、新鮮な気持ちで、音楽や生活を楽しんでゆければいいですね。

新たに挑戦したい、レパートリーは。

何でも!色々な楽器の名曲を、どんどん自分で編曲して吹いていきたい。新アルバムにも、自分で編曲したシューベルトのアルペジオーネ・ソナタやヴァイオリン曲、ピアノ曲、歌曲を収録しました。

あなたにとって、「音楽」とは。そして、「クラリネット」とは。

音の響かせるもの、全てが音楽!! それは、自分の周り中に存在しています。そして、クラリネットは幼なじみの友人であり、お気に入りのおもちゃでもありますね(笑)。

※1 モーツァルトは、普通のA管クラリネットより5度低い音域まで演奏できるバセットクラリネットの性能をフルに発揮できるように、この協奏曲を書いた。しかし、1801年に出版される際、バセットクラリネットは既に一般的ではなくなっていたため、普通のA管でも演奏できるよう、フレーズごと1オクターヴ移すなどの編曲が施された。没後200年を機にバセットクラリネットが復元されたことから、原典版での演奏が一般的になりつつある。

※2 Michael Collins(1962~) 現代イギリスを代表する、名クラリネット奏者。米ニューヨークのコンサート・アーティスト・ギルド・コンクールを制して、カーネギーホール・デビュー。18歳からナッシュ・アンサンブルとロンドン・シンフォニエッタで活躍、長年にわたって名門・フィルハーモニア管弦楽団の首席奏者を務めた。橋本さんは2005年から6年間、彼の薫陶を受けた。

※3 「バスキング」とは、大道芸のような路上パフォーマンス。「クレズマー」は、東欧のユダヤ系民族音楽を意味する。



9月19日(金)
10:00 受付開始
ザフェニックスホール
友の会優先予約

9月22日(月)
10:00 受付開始
イーフェニックス
E-PHX優先予約

9月24日(水)
10:00
一般発売

インターネット予約、ご来店による
お申込みは9月25日(木)10:00から!

■アンサンブル・ア・ラ・カルト56

2015年3月1日(日)

16:00開演 指定席
一般 ¥4,000(友の会価格 ¥3,600)
学生 ¥1,000(限定数)

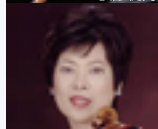
ムッシュ・クドウ企画の「笛吹き祭典。」ファイナルは関西ゆかりの「弦」名手と室内楽。
工藤重典フルート・ライブ・セッション with the String Trio

出演 工藤重典(フルート)、小栗まち絵(ヴァイオリン)、馬淵昌子(ヴィオラ)、林裕(チェロ)
曲目 L・V・ベートーヴェン:セシナーデ 二長調 作品25 (Fl,Vn,Va)
W・A・モーツァルト:フルート四重奏曲 第1番 二長調 K285 (Fl,Vn,Va,Vc)
A・ルーセル:フルート三重奏曲 作品40 (Fl,Va,Vc)
A・ライヒャ:「もし踊りたいなら」の主題による18の変奏曲と幻想曲 ト長調 作品51 (Fl,Vn,Vc)

日本のトップフルーティスト、工藤重典がプロデュースするシリーズ公演のファイナル。ヴァイオリン小栗まち絵、ヴィオラ馬淵昌子、チェロ林裕といった関西拠点の弦楽器の名手ともども、フルートを伴う室内楽作品の「白眉」を贈る。モーツァルト、ベートーヴェン、そしてライヒャ。ウィーンゆかりの作曲家の古典作品と、フランス近代の名匠ルーセル。我が国でいま聴くことの出来る、最高峰のアンサンブルを楽しむ春、弥生の一夕。



工藤重典(くどう・しげのり/フルート) 札幌生まれ。10歳より佐々木伸浩氏にフルートの指導を受け、桐朋学園で峰岸壮一氏に師事。パリ音楽院では、J=P・ランパルに師事し、1979年1等賞で卒業。第2回パリ国際フルートコンクール、第1回J=P・ランパル国際フルートコンクール優勝。レコーディング活動を活発に行っており、内外のレーベルから60種類以上のCDをリリースしている。1990年以降、水戸室内管弦楽団やサイトウ・キネン・オーケストラで活躍。2013年3月、オーケストラ・アンサンブル金沢特任首席奏者に就任。現在、東京音楽大学教授、上野学園大学、大阪音楽大学各客員教授、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授を務めている。



小栗まち絵(おぐり・まちえ/ヴァイオリン) ヴァイオリンを東儀祐二、鷺見三郎、江藤俊哉の各氏に、室内楽を故斎藤秀雄氏に師事。第37回日本音楽コンクール第1位。大学在学中から桐朋弦楽四重奏団のメンバー、主要楽団のソリストとして演奏活動を開始。1972年ヴェニアフスキ国際コンクール特別賞を受賞の後、渡米し、インディアナ大学でジョセフ・ギンゴールド、フランコ・グッリの両氏に師事。数々の室内楽コンクールで入賞。以後、欧州でも活躍。1986年より、相愛大学音楽学部教授として後進の指導にあたる。いずみシンフォニエッタ大阪コンサートミストレス。2004年エクソンモービル音楽賞本賞、07年度大阪芸術賞特別賞、09年度大阪市市民表彰(文化功労部門)をそれぞれ受賞。



馬淵昌子(まぶち・しょうこ/ヴィオラ) 桐朋学園大学とパリ国立高等音楽院の大学院を修了。パオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクールで第3位と特別賞受賞。以後、数々のコンクールで入賞。92年・東京国際音楽コンクール室内楽部門第2位。93年ミュンヘン国際音楽コンクールヴィオラ部門第3位(1位なし)。これまでにフィンランド・クフモ音楽祭、イタリア・ドロマテ音楽祭などに出演。内外でソロ、室内楽を軸に主要楽団の客演首席として活躍。紀尾井シンフォニエッタ東京、いずみシンフォニエッタ大阪、ヴィルトゥス・クワルテットのメンバー。「馬淵昌子ヴィオラリサイタル」ソロCDがロンドミュージックレーベリリリース。



林裕(はやし・ゆたか/チェロ) 東京芸術大学卒業。日本音楽コンクール第1位、黒柳賞受賞。独フライブルク音楽大学院を首席修了。青山音楽賞、松方ホール音楽賞大賞、「Cellist=Composer Collection」公演に対し、大阪文化祭賞グランプリ、文化庁芸術祭優秀賞などを受賞。故・朝比奈隆氏指揮大阪フィルハーモニー交響楽団との共演は、絶賛を博した。CD「SOLO ist」にヤノシユ・シュタルケルが賛辞を寄せたほか、「レコード芸術」誌の特選盤に選ばれた。いずみシンフォニエッタ大阪メンバー。相愛大学准教授、神戸女学院非常勤講師。

ホール主催・共催・協賛公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00

- ザ・フェニックスホール友の会優先予約
 - ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
 - ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時にお電話でお申し付けください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

- E-PHX(イーフェニックス)優先予約
 - ・E-PHX(イーフェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
 - ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話での登録はできません。

- 一般発売
 - ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
 - ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

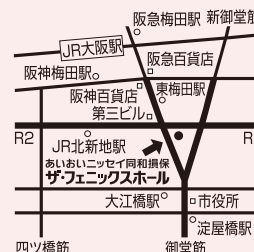
http://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

- インターネット予約(主催公演のみ)
 - ・ザ・フェニックスホールホームページ、チケットセンターのページからお申込みください。
 - ・チケット予約フォームに記載のない公演につきましてはおそれ入りますがお電話でお問合せください。
 - ・ホームページ更新の都合により、完売表示のない公演でもお申込み時には完売となっていることもございます。どうぞご了承ください。
 - ・学生券のインターネットによるご予約は受付いたしておりません。
 - ・チケットご予約フォーム送信後、営業日3日以内に座席の有無、座席番号、入金方法につきまして確認メールをお送りいたします。

直接のご来店による
お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物5階、エレベーターを降りて廊下右手です。



チケットお申込み後のお受け渡し方法 下記①または②のどちらかとなります。

- ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00~17:00です。
- ②先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律400円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

■フェニックス・エヴォリューションシリーズ71

主催 青木紗央リサイタル実行委員会

2015年2月7日(土) 15:00開演 自由席

青木紗央 マリンバ・リサイタル

一般前売 ¥2,500(友の会価格 ¥2,250)
 一般当日 ¥3,000(友の会価格 ¥2,700)
 大学生前売 ¥2,000 大学生当日 ¥2,500
 高校生以下前売 ¥1,500 高校生以下当日 ¥2,000

出演 青木紗央(マリンバ)、ゲスト:大場章裕(マリンバ)
 曲目 R・レイノルズ:オータムアイランド L・H・スティーブンス:リズムック・カプリス
 権代敦彦:木はやはりなにも言わない 権代敦彦:木霊
 A・ヴィニャオ:ブック・オブ・グルーヴス

マリンバは西洋音楽の楽器として確立されてからまだ100年にも満たない新しい楽器です。特に近年その音域が5オクターブに広がり、演奏技術やレパートリーの発展が著しいです。

本公演では、世界的に活躍する現代作曲家がマリンバのために書いたオリジナル作品を中心に取り上げました。4本マレット奏法の可能性を追求した「オータムアイランド」や「リズムック・カプリス」他、権代氏より直々に楽譜を頂戴した一台のマリンバを二人で演奏する「木霊」、2012年に米国で世界初演を行ったA・ヴィニャオ氏のマリンバデュオ作品「ブック・オブ・グルーヴス」など変化に富んだ作品を集めています。

この演奏会を通してマリンバ音楽を知らない方々にマリンバの魅力を知っていただき、マリンバ音楽の発展・普及に努めたいと考えています。



青木紗央(あおき・さお/マリンバ)

東京藝術大学卒業。卒業時に同声会賞受賞。第23回日本打楽器協会主催打楽器新人演奏会マリンバ部門グランプリ受賞。米国ジョーンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院に奨学金を得て入学し、修士課程、グラデュエイト・パフォーマンスディプロマ課程を修了。PASIC(全米打楽器協会国際コンベンション)に招待され演奏。A・ヴィニャオのマリンバデュオ作品「ブック・オブ・グルーヴス」の世界初演など現代欧米作曲家のマリンバソロ作品や、打楽器室内楽作品に精力的に取り組んでいる。<http://www.aokisao.com>

大場章裕(おおば・あきひろ/マリンバ)

東京音楽大学卒業。同大学卒業演奏会出演。同大学大学院音楽研究科科目等履修修了。平成16、18、19年度特待奨学生。第28回日本管打楽器コンクール打楽器部門第1位。同コンクール大賞演奏会で審査員特別賞受賞。イタリア・フェルモで開催された第10回イタリア国際打楽器コンクール、マリンバ部門第1位。2007年ザルツブルグで開催されたモーツァルトウム音楽学校サマーアカデミーに奨学金を得て参加。フリーパーカッショニストとして、オーケストラ、吹奏楽、ミュージカル、CMやTV出演などジャンルを問わず活動中。東京音楽大学助手。

フェニックス・エヴォリューション・シリーズは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の芸術文化支援活動の一つです。同社が運営するあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール(大阪・梅田)での公演企画を公募、審査で選ばれた方にホールと付帯設備を無料で貸与致します。

フェニックス・エヴォリューション・シリーズ審査結果のお知らせ 2015年5月から2016年2月までの4公演が決定!

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールは、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が芸術文化支援(メセナ)活動の拠点として設置、運営している音楽ホールです。優れたアーティストによる自主企画公演を開催する一方で、発表の機会を求めておられるアーティストの方々に呼び掛け、個性溢れる公演にこのホールを活用いただくことも重要な事業と位置付けています。「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」は、プロ・アマを問わず、音楽を愛するみなさまから公演の企画を募り、審査を経て選ばれた方々にホールと付帯施設を無料で提供しています。今回で募集は19回目となりました。2015年5月から2016年2月までの4公演の枠に、国内外から37編のご応募をいただきました。去る7月19日に選考検討会を開催し、識者の方々のご意見を伺ったあと、さらにザ・フェニックスホールで選考を進めた結果、4編の企画を入選と致しました。



本年の選考アドバイザー
 (五十音順、肩書は選考当時)

嶋原真一様(音楽評論家・京大名誉教授)
 時田アリソン様(京都市立芸術大学 伝統音楽研究センター所長)
 西村理様(大阪音楽大学准教授)
 松本邦子様(京都新聞 編集本部 報道局 文化報道部記者)
 持丸直子様(読売新聞大阪本社編集局 文化・生活部記者)

2015年5月20日(水)
 胡弓 いま⇄むかし
 伝えたい音、今奏でる

出演 木場大輔(胡弓)、菊央雄司(歌・三絃)、
 足立知謙(ピアノ・シンセサイザー)
 曲目 菊岡検校:笹の露
 木場大輔:あの雲のむこう 他

2015年7月4日(土)
 バロックから古典派へ
 そして、その移行期に生まれたオペラ「奥様女中」

出演 重松みか(メゾ・ソプラノ)、浅井順子(ソプラノ)、小泉文(ソプラノ)
 オペラ配役 セルピーナ:藤井理紗、ウベルト:片桐直樹、ヴェスポーネ:竹内直紀
 演出 重松みか、ピアノ伴奏:關口康祐
 曲目 G・F・ヘンデル:歌劇「アタランタ」より“いとしの森よ”
 G・ベルゴレージ:幕間劇「奥様女中」 他

2015年10月7日(水)
 中川 岳 チェンバロ・リサイタル

出演 中川 岳(チェンバロ)
 曲目 L・クーブラン:組曲 へ長調
 J・S・バッハ:バルティータ 第4番 二長調 BWV828 他

2016年2月6日(土)
 11弦ギター又は19世紀ギターデュオによる
 「ギターの非日常」

出演 金谷幸三(11弦ギター、19世紀ギター)
 稲川雅之(ギター、19世紀ギター)
 曲目 J・ケージ:風景の中で
 E・サティ:グノシエンヌ 他

Pick Up ピックアップ

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内 ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛
公演

～ベートーヴェンから親愛なる人々へ～

主催 オフィス池山

金子鈴太郎×多川響子 チェロとピアノの為の作品 全曲リサイタル

発売中

Vol.1:2014年11月2日(日) Vol.2:2015年3月8日(日) 14:00開演 自由席 全2回通し券¥5,000
一般前売¥3,000(友の会価格¥2,700) 一般当日¥3,500(友の会価格¥3,150) 学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

出演 金子鈴太郎(チェロ)、多川響子(ピアノ)

曲目

ベートーヴェン:チェロとピアノのためのソナタ第1番 ヘ長調 op.5-1
チェロとピアノのためのソナタ第2番 ト短調 op.5-2
モーツァルトの「魔笛」の「恋を知る男たちは」の主題による
7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46
チェロとピアノのためのソナタ第3番 イ長調 op.69

※Vol.2は、同作曲家の他曲目を予定

ベートーヴェンのチェロとピアノの為の全作品演奏を、2公演にわたり若手実力派奏者の金子鈴太郎と多川響子が行います。作曲時期により変化する内容やチェロとピアノのかけ合いなど聴きどころ満載です。

ベートーヴェンをこよなく愛する2人の息の合った演奏をどうぞお楽しみ下さい!



協賛
公演

関西弦楽四重奏団

主催 関西弦楽四重奏団

公演運営 コジマ・コンサートマネジメント

発売中

2014年11月18日(火) 19:00開演 自由席 一般前売¥3,500(友の会価格¥3,000) 一般当日¥4,000(友の会割引なし)

出演 関西弦楽四重奏団

林七奈、田村安祐美(以上ヴァイオリン)、
小峰航一(ヴィオラ)
上森祥平(チェロ)

曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第4番 ハ短調 op.18-4

バルトーク:弦楽四重奏曲第3番

ブラームス:弦楽四重奏曲第3番 変ロ長調 op.67

日本のオーケストラで活躍する第一線のプレイヤーたちによる新鋭弦楽四重奏団!
カルテットへの強い情熱と意志が弾ける初の本格的な大阪公演。



Salon

アート・イン・フェニックス

ポール・ギアマン作「ダンサー」

2階ホワイエ 壁面

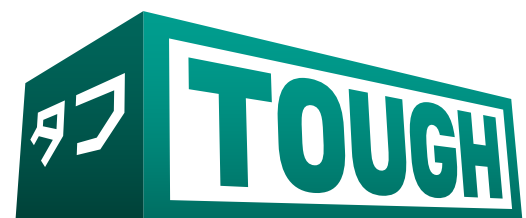
作品「ダンサー」は、1995年ザ・フェニックスホール開設にともない、ギアマンが特別に制作した2階ホワイエを飾る6連作の1作品です。連作は音楽、演劇、舞踊をテーマに、ギアマンの舞台芸術を愛する思いが込められ、描かれました。

クラシック・バレエは、ドガ、小磯良平をはじめ、巨匠たちが好んで描いたテーマですが、ギアマンは舞台芸術の表現の一つとして、音楽と共にバレエを描いています。ヴァイオリンの演奏に合わせて、軽快にステップを踏むダンサーは、天真爛漫な太陽の陽気のごとく幸福を舞踊で表現しています。背景の黄色と幻想的な花がより一層、雰囲気高め、鑑賞者を幸福感で包み込みます。



あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



タフな安心を、あなたに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1

<http://www.aioinissaydowa.co.jp/>



「室内楽のメッカ」で 今井信子さんと共演

11月、バッハの大曲「ゴルトベルク」合奏 マイア・ガベザ(Vn) & ガブリエル・カベザス(Vc)

室内楽に携わる世界中の演奏家から、「^{メッカ}聖地」と称されるフェスティバルが米国にある。「マルボロ音楽祭」。同国北東部ヴァーモント州の田舎町で毎夏、7週間にわたり開かれる室内楽の祭典だ。功成り名を遂げた大家から才気溢れる若者まで幅広い年代の名手が集い、演奏を通じて知識や演奏経験を分かち合う。創設から60年余。若い時期、ここで学んで国際的なキャリアを切り拓いた名手は数多い。ザ・フェニックスホール音楽アドバイザーを務めるヴィオラ奏者・今井信子さんもその一人だ。彼女の企画で11月、私たちホールで開かれる「弦楽トリオが奏でる『ゴルトベルク』」公演は、昨年のマルボロ音楽祭で合奏した同国の俊英マイア・カベザ(ヴァイオリン)とガブリエル・カベザス(チェロ)を招き、その折の成果を披露する、期待の舞台。2人のメールを交え、マルボロ音楽祭の特色を綴ってみる。(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 谷本 裕)

マルボロは、ボストンから車で約3時間。ヴァーモント州南部にあり、人口1千人ほど。1951年、20世紀を代表するピアニスト、ルドルフ・ゼルキンがアドルフ・ブッシュ(ヴァイオリン)、モイーズ(フルート)らと創設した。彼らは戦争で混乱した欧州を嫌い、新大陸に夢を託そうとした楽友。事業の軸は教育。週末には公開公演もあるが、当初は「音楽家による音楽家のためのキャンプ」だった。以前はカザルス(チェロ)、ホルショフスキ(ピアノ)、ヴェーグ(ヴァイオリン)といった往年の名手も参加し、若い音楽家はその後、世界的なソリストやオーケストラの首席などになっている。グアルネリや東京といった弦楽四重奏団はじめ優れた室内楽グループのメンバー、教育者も多い。今井さんは64年に初参加、ゼルキンやモイーズ、チェロのトルトゥリエらの^{師匠}管轄に触れ、カザルス

とどまらない。経歴や年齢、国籍に関わらず、参加者は対等に議論し、音楽を形づくる。そんな民主的な考えが根底にある。気風を築いたのは、初代芸術監督のゼルキン。彼が残した言葉がある。「この音楽祭には『生徒』や『教師』は居ない。居るのは『参加者』だけだ。参加者は質素な共同生活を営む。家族的な雰囲気も特徴で、彼自身、食事の用意や掃除を受け持った。そんな緩やかな文化が引き継がれている。

M 音楽を自由に探検する。それがマルボロの理念です。「ジュニア」と呼ばれる若手と、キャリアを持つ音楽家(「シニア」)が触発し合う。偉大な音楽家の知見の広さや旺盛な好奇心を身近に感じる事ができ、音楽への献身ぶりも、印象的でした。

G 僕たちジュニアには合奏中、合奏相手の「出方」を受け止め、素早く理解し、自己表現として反応できる弾力性が求められます。どの曲も「思いつき」でなく、説得力ある「意味」を楽譜から引き出せなくてはなりません。多くの音楽家から、実に色々なことを学びました。

た。でも、この作品は同時に彼が、とても美しい、人々の心を震わせるような音楽をも生み出せる、正に名作曲家だったことを示しています。

M チェンバロだと、響きの中に埋れがちの複数の旋律線が、弦楽トリオなら明確に聴き取れる。私たち3人が音楽的に、いかに緊密に結びついて演奏を進めているか、お分かりになるでしょう。三重奏版はこの作品に新しい道を開く傑作です。

演奏は1時間を超す。そんな大作を囲む3人の協働は正に「マルボロ精神」を体現するものだった。

M ノブコは、自分の音楽的なアイデアを押し付けず、逆に私たちのアイデアをゆったりと受け止めてくれた。私たちも自然に彼女の演奏に耳を傾け、対話するように演奏するようになりました。あれが、



「経験差超え対等に」

マルボロ音楽祭

「求められた弾力性」



Maia Cabeza 1992年、つくば市生まれ。米カーティス音楽院、独ハンス・アイスラー音楽大学とベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・オーケストラ・アカデミーで学ぶ。2013年レオポルト・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクール優勝。フィラデルフィア管をはじめ欧米の楽団との共演が増えている。ストラディヴァリ・ソサエティから1892年製のヴァイオリン「グラナチャーニ」の貸与を受けている。

指揮する音楽祭のオーケストラで演奏もした。それから半世紀。彼女は「シニア」として若手指導に当たっている。2人の俊英はこの名門に、どんな思いで参加したか。

マイア(以下M) マルボロは格式ある音楽祭として有名。知り合いがたくさん経験していて、私にとっても夢。昨年、初参加しました。期間が7週もあり、ふだんのコンサート活動に比べ、リハーサルにたっぷり時間を取る。お陰で高い水準の勉強が出来ました。

ガブリエル(以下G) 僕は2011年からです。レッスンを受けるタイプの音楽祭と異なり、信じられないようなヴェテランと演奏できる。言葉を介した指導との決定的な違いは、実演の中で相手の表現に即応し、演奏を習得する点でしょう。

実践を尊ぶ米国らしい流儀。「らしさ」は、それに

多様な解釈を受け容れる雅量。ヴェテランの主張にも物怖じしない自信。靈感を織り込み、自己主張を交え演奏する技巧。若手が学ぶのは実は、社会の中で一人ひとりが個性豊かに生きる、その在り方かもしれない。2人にとって「母親格」の今井さんの印象は？

G 私たちは3週間も同じ曲に取り組んだんです。彼女は親切で、私たちの演奏に我慢強く向き合ってくれた。とてもありがたかったですね。

M ノブコはいつも明るく微笑んでいる。自分の喜びをそのまま、演奏に置き換えられる。人間としても音楽家としても、素晴らしい能力を持った人です。

合奏の題材が、今公演で取り上げる『ゴルトベルク変奏曲』。大バッハが不眠症の貴族向けの睡眠剤として、書いた作品。バロックダンスに用いられるような気品ある主題を冒頭で示し、続いて30もの変奏を展開する。元々はチェンバロ独奏曲だが、旧ソ連出身のヴァイオリニスト、ドミトリ・シトコヴェツキーが編曲した弦楽三重奏版を用いる。曲の魅力はどこに？

G バッハは素晴らしい作曲技法の持ち主でし

本当の室内楽なのですね。曲の見方が随分、変わりましたが、発見できることはまだまだ多いはず。試行錯誤は「音楽の旅」で、それは決して終わらない。

G 精神的にも身体的にも、消耗するような経験をしましたが、大作を詳細に練り上げることが出来、満足しています。ただ僕は、作品の「あるべき姿」が常に変化していくタイプ。大阪でさらに新しい演奏をつくることを、楽しみにしています。

「今井信子 presents 弦楽トリオが奏でる『ゴルトベルク』」公演は11月21日(金)午後7時開演。指定席。入場料4,000円(友の会3,600円)。学生1,000円(限定数)。ザ・フェニックスホールチケットセンターのみお取り扱い。チケットのお求め、お問い合わせは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く 平日午前10時~午後5時)。

一期一会 ～Music for a while～ —近藤浩志



Keizo Matsui

皆さんは私達演奏家が一年で何回コンサートをしているかご存知でしょうか。僕の場合だいたいオーケストラの仕事としては100回以上で、その他室内楽やソロのリサイタルを入れたら…考えると本当にたくさんのコンサートをしています。一つ一つが大変なのは勿論、今まで取り上げていなかった曲や知らない曲に時間を取られることもあったり、急な用事で予定通り練習が捗らないこともあり、コンサートに向けての準備の難しさはプロになってからも今年で26年ですが、まだまだ上手くは行かないものです。

あるリサイタルでの事です。会場に車椅子に松葉杖のお客様がいらっしゃいました。とても気になったので終演後お話を伺って驚愕しました。と言うのは彼女はある事故で大怪我をおわっていたのです。しかし大ファンである僕のコンサートにきたい一心で過酷なりハビリに耐え、半年は歩けないと言われていたのに、三ヶ月で会場まで自分で来られるまでに回復なさったのです。僕はその気持ちに答えられていたのでしょうか、ただただ涙が出てありがとうございますと何度も何度も言いました。僕が毎日追われるように沢山のコンサートをしてきている中で、彼女はたった一つ僕のリサイタルの為に辛いらハビリをして聞きに来てくれたのです。決していい加減な気持ちでコンサートしていた訳ではありません。全力で頑張っていたからこそ、この出来事はとても大きく僕を変えました。

僕の母は今も現役で歌い続けるオペラ歌手で、その母を支えるためにピアニストの夢を諦めて音楽教師になったのが父です。僕がチェロの試験の前日に不安を漏らすと、「明日あなたの試験を聞いてくださる方々は、あなたがプロになった時にリサイタルに全員来て下さることはないんだよ、だから感謝して演奏しておいで。」と言って落ち

かせてくれました。その言葉が源で、コンサートでは常に感謝の気持ちを忘れてはいけない事を教えられました。

数年前まで開いていたホームページに、たくさんの考えさせられるメッセージを頂きました。苦学生で一生懸命バイトしてお金をためてコンサートに来てくれた学生さん。記念日に二人で来てくれた若いご夫婦。子供からチケットをプレゼントしてもらって来ていただいた90歳のお祖父様。たくさん来て頂いた方々の中には、僕のコンサートを聞いてすぐに他界なさった方のご家族からの投稿もありました。年間200回あまりのコンサートの中で、多くの方との出会いと別れを繰り返してもう26年。その、コンサートと言う「つかの間の時間」を共有していただいた全ての方にいつも思うことがあります。中には人生初めての方、記念日の方、そのコンサートを何かの目標にしていた方、そしてもしかしたら人生の一番最後に聞いていただいた方。その方々の人生の本当に貴重な2時間を僕のコンサートに使って下さったことを心から感謝します。またそんな貴重だからこそ、本当に良いコンサートだった、来てよかったと笑顔で帰って頂けたらと思います。そこには「一期一会」この時間を共有することが出来た奇跡を、感謝の気持ちを持って大切にして誠心誠意演奏したい僕の精神があります。僕にとっては200回のうちの一回でも、お客様にはたった一回のコンサートなので、汗をびっしょりかきながら毎回全力で演奏しています。決して短くないコンサートの時間、でも、人生においてはつかの間のその時間には一期一会の精神が本当に大切なんだと思います。これからもたくさんの方との人生の軌跡が重なるその時間、素晴らしい音楽の時間を楽しめるよう全力で音楽に打ち込み、手が動かなくなるまで弾き続けたいと思っています。



近藤浩志(こんどう・ひろし/チェロ奏者)

東京藝術大学を経て、エコー・ノルマル及びブローニウ音楽院を首席卒業。大阪国際室内楽コンクールをはじめ国内外の多数のコンクールに入賞。松尾学術振興財団音楽賞二年連続大賞受賞。米・カーネギーホールや国連会議場等でのソリストとしての活動をはじめ新日フィルや大阪フィル、ニューヨークフィル等国内外のオーケストラと共演、世界的指揮者ジャン・フルネ氏より「現代第一級のソリスト」の推薦状を受ける。久石譲氏に認められ、数多くのジブリ映画の演奏を担当。NHKの夕方クインテットのスコアさんの音も演奏している。現在、大阪フィルハーモニー交響楽団チェロトップ奏者。大阪音楽大学、神戸女学院、各講師。



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー5F TEL 06-6363-0211

Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2014年9月
発行 あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
編集 吉元 晃
デザイン 松井桂三有限公司